

てんざ新聞

71.6. No168
発行所 岡田新聞社
責任者 岡田 功
0883-88-5292

今、祖谷の山では空木の花が目につきます。仰の花とも言うのだが、

灰は愛らくく、咲いたれば切るとよつとは考へないが、灰が咲いた時には、樹木の木が。切っても切っても出さぬ。成長も早くて若草させられま。子粒の頃、オヤシに笛を吹くもろい。惜しくも、一日中持ち歩いて記憶がありま。自分で作るよりも、何かいい音が出ると、

よく、少し高くおれば、ゴウツツとも咲いてます。何かおかしな花びらが見えにいけど、ト午の木の花も見えま。ト午の木の下へ降りば降り音が出ま。不思議な世界へ

はい、ここはいます。地上どうして買はてはいません。何もう、買けたら生きていける世界です。少しでも上に、少しおもしろく、自分の場所を確保しなればいける。いけるのですから、名前も知らぬ山野草の花が見えつかりま。ほんまにとりりしませんが、最近、気楽に新聞にのせま。残念ながら、名前を調べると載せると、これをさかして野山を歩きまわると、あんな

田舎

くら

71.6. No168
自分規制をしようといはいつに
私がおいて、このオオマレングを
山に連れたいともうつのは、もう
感動の一言。おした。
としかる数年、祖谷の人、教人が
行きました。教人前、ある新聞に
マレングがあることを載りました。
お山に、大つたのから知りません。
いから、毎年、20人前後のツア
組まれ、何組も

くらこののしみ



いかにけいひなく、人笑とついているのです。マカサウエ、ツツドリ、カッコー、やウグイスなどの鳥の音も、毎日のように聞ける祖谷です。人の行動が、えん自然が多い祖谷が荒らさぬといふのに力を借すことは、おしはいと、おしのすが、いい言葉かほせると、載せたくは、おしひりて、おしま。マレングのスイッチを切り、新聞は読んで、その日の天候にあわせて、キロローというアカサウエビの鳴き声を聞き、汗を流して煙が土をいひる。一体みした時の水の美味さ。自分で耕作した野菜を安心して食べれる。まさか他人の様に、自然の中、自然に生かすこと生かすことが出来れば、田舎の人らに、楽しい、精神的にも、安心かに生きていけるのだ。現実には、難しい。人は、人の中、生きてく、人と人と生きていくので、人との繋がり、おしひりて、おしま

